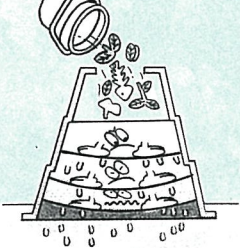


コンポスターの じょうずな使い方

	<p>① 日当りのよい土の上をよく耕して地中5cmぐらい埋めて設置してください。</p>
	<p>② 台所の生ゴミ、有機質のゴミならなんでもコンポスターへ投入できます。くさらない金属・ガラス・プラスチック等は投入しないでください。</p>
	<p>③ 台所の生ゴミはほとんどが水分です。水分は地中に吸収されますが多すぎる場合には枯葉、わら、ダンボール片、等を投入してください。</p>
	<p>④ 生ゴミが20cmぐらいの厚さになりましたら土を2~3cmの厚さにかけてください。生ゴミの発酵を促進させます。</p>
	<p>⑤ 土の中のバクテリアの働きにより有機質のゴミは発酵、分解し、逐次堆肥化されてゆきます。</p>
	<p>⑥ 生ゴミがいっぱいになったら容器を引きあげて下部の黒く堆肥化した部分から使用し、未完熟の生ゴミは移設したコンポスターの中に再投入してください。</p>

ゴミの区分と出し方には気をつけて

ゴミは「燃えるゴミ」と「燃えないゴミ」とに分けて収集処理していますが、生ゴミや紙くずなどと一緒に空缶や空ビンなどがまざっている場合

が多いので、ゴミの区分は正しくお願いします。また、通常家庭から出される生ゴミには、かなりの水分が含まれているので、生ゴミ

燃えるゴミは、毎週火・金曜日に、燃えないゴミは、毎月3・17日に収集しています。最近の状況を見ると、収集日を守らないで出されている状況が見受けられます。収集日以外に出されたゴミは、犬や猫等によって荒らされたり

し方等を呼びかけ、町ぐるみでよい環境を作りあげることが大切だと思います。また、最近では産業廃棄物を含む不法投棄が増えたため、未然防止と早期発見を目的に

不法投棄監視員を設置しましたが、不法投棄については、そのモラルに頼るところが多く一朝一夕には解決できる問題ではありませんので、みなさんのご協力をお願いします。

燃えるゴミは、毎週火・金曜日に、燃えないゴミは、毎月3・17日に収集しています。最近の状況を見ると、収集日を守らないで出されている状況が見受けられます。収集日以外に出されたゴミは、犬や猫等によって荒らされたり



ゴミは収集日に



いつでもきれいに利用されているゴミステーション (橋場)

悪臭などでステーション周辺の家庭に迷惑がかり、環境破壊の原因にもなります。また、ゴミステーションは「ゴミを置くところ」であり「ゴミを捨てるところ」ではありませんので、ゴミを出す時は収集日の午前8時30分までに指定のゴミステーションへ出ししましょう。